

給与支払報告書(個人別明細書) 記載例

必ず令和4年度用(左上隅に4と〇で囲まれて表示)を使用してください

給与支払報告書(個人別明細書)	4		※種別		※整理番号		※		
	支払を受ける者		住所		(受給者番号) 000-00000000		(個人番号) 012345678912		
	住所		小浜市大手町6番3号		(役職名) 係長		(フリガナ) オバマ タロウ		
	氏名		小浜 太郎		氏名		(フリガナ) オバマ タロウ		
	種別		支払金額		給与所得控除後の金額(調整控除後)		所得控除の額の合計額		
	給料・賞与		6,596,412 円		4,836,800 円		2,965,000 円		
	源泉控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額		控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)		16歳未満扶養親族の数		
	有 従有		0		1		2		
	障害者の数(本人を除く。)		非居住者である親族の数		1		0		
	社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額		
575,000 円		120,000 円		20,000 円		93,550 円			
(概要)									
前職:有限会社 築上 令和3年3月30日退職									
支払金額:1,500,000円 社会保険料150,000円 源泉徴収税額:100,000円									
生命保険料の内訳		20,000 円		20,000 円		85,000 円		100,000 円	
住宅借入金等特別控除の内訳		1		26年9月9日		住(特)		47,000 円	
源泉・特別控除対象配偶者		配偶者の合計所得		378,000 円		基礎控除の額		480,000 円	
氏名		小浜 花子		氏名		小浜 愛		5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号	
個人番号		012345678934		個人番号		012345678913		5人目以降の16歳未満の扶養親族等の個人番号	
氏名		小浜 一郎		氏名		小浜 次郎		氏名	
個人番号		012345678956		個人番号		012345678978		氏名	
氏名		小浜 三郎		氏名		氏名		氏名	
個人番号		012345678990		個人番号		氏名		氏名	
氏名		氏名		氏名		氏名		氏名	
個人番号		個人番号		個人番号		個人番号		個人番号	
未成年者		外国人		死亡退職		乙欄		本人が障害者	
○								○	
就職		退職		年		月		日	
○		3		4		1		○	
受給者生年月日		明		大		昭		平	
年		月		日		年		月	
30		6		12					
個人番号又は法人番号		9876543219876		(右詰めで記載してください。)					
住所(居所)又は所在地		小浜市駅前町1番2号							
氏名又は名称		株式会社 小浜		(電話) 0770-00-XXXX					

支払者の個人番号または法人番号を記載してください

中途就職・退職の日付、受給者生年月日を正確に記載してください

給与支払報告書(個人別明細書) 記載内容

1	住所	・給与受給者の令和4年1月1日現在の住所を確認し記載してください。 ・※小浜市に居住していて、住民登録が小浜市以外の方は、住民登録の住所と現住所を2段書きしてください。
1	受給者番号	・給与の支払者が、受給者ごとに番号を付している場合にその番号を記載してください。
	個人番号・氏名	・個人番号(マイナンバー)を必ず記載してください。また、氏名のフリガナを必ず記載してください。
2	支払金額等	・支払金額を記載し、簡易給与所得表より給与所得控除後の金額を求めてください。
	所得控除の額の合計額	・給与所得控除後の給与等から控除した金額の合計額を記載してください。
3	扶養欄	・生計を一にする親族でR3年中の合計所得金額が48万円以下の方が対象です。 ・従たる給与等の支払者の場合は、各欄の「従」に記載してください。 ・同居老人扶養の場合や、同居特別障害者の場合は、「点線の左側の内の欄」にもその者の数を記載してください。 【特定扶養親族】19歳以上～23歳未満の方(H11. 1. 2～H15. 1. 1生まれ) 【老人扶養】70歳以上の方(S27. 1. 1以前生まれ)
	(源泉)控除対象配偶者の有無・配偶者特別控除	・主たる給与等において、年末調整の適用を受けている場合で、控除対象配偶者を有しているときは『有』に〇印を付けてください。 ・従たる給与等の支払者の場合は、「従」の欄に表示してください。 ・控除対象配偶者のうち、年齢70歳以上(S27. 1. 1日以前生まれ)は『老人』にも〇印を付けてください。 ・合計所得金額が、1,000万円以下で、生計を一にする配偶者のR3年中の合計所得金額が48万円超～133万円以下の場合は、配偶者特別控除が受けられます。対象となる場合、イ欄に配偶者の合計所得を記載してください。
4	社会保険料	・給与等からの控除分と、本人申告による控除分を合算して記載してください。 ・小規模企業共済掛金等がある場合は2段書きとし、上段に小規模企業共済掛金を、下段には社会保険料との合算額を記載してください。
	生命保険料・地震保険料	・控除申告書に基づいて、控除額を記載してください。 ・旧長期損害保険料を支払った場合は、ト欄に記載してください。
5	摘要欄	・中途就退職の方で、前職分の給与等を含んで年末調整を行った場合には、前職分の給与等の金額、給与等から控除した社会保険料の金額、徴収税額、給与支払者の所在地、名称、退職年月日を記載してください。 ・年末調整を行っていない場合は「年調未済」と記載してください。 ・扶養親族のうち、住民登録が小浜市以外の方は、住民登録住所もしくは現住所(R4.1.1現在)を記載してください。 ・普通徴収希望の方は、普通徴収切替理由書のアルファベット、または理由を記載してください。
6	生命保険料の金額の内訳	・生命保険料について、金額の内訳(支払額)を記載してください。
7	住宅借入金等特別控除の内訳	・適用がある場合は、必ず「住宅借入金等特別控除可能額」、「居住開始年月日」、「区分」を記載してください。 ・「区分」には、一般の住宅借入金等特別控除の場合「住」を、認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合は「認」を、特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合は「増」を記載してください。 ・当該住宅の取得等が特定取得に該当する場合は、区分に「(特)」を追記してください。
8	控除対象配偶者等	・控除対象配偶者、扶養親族、16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ、個人番号を各欄に記載してください。 ・対象者が非居住者である場合は、区分欄に〇を記載してください。
9	本人欄	本人が該当する場合は、該当欄に〇印を付けてください。※現況は原則R3. 12. 31時点 【未成年者】H14. 1. 3以降生まれで結婚歴のない方 【乙欄】 他から主たる給与を受ける方 【寡婦】 次の要件のいずれかに当てはまる方 ①夫と死別、または離婚した後婚姻をしていない人で、総所得金額等が48万円以下の生計を一にする扶養親族を有する ②夫と死別した後婚姻をしていない人で、合計所得金額が500万円以下 【ひとり親】 次の要件の全てに当てはまる方 ①事実上婚姻関係と同様の事情にあると認められる一定の人がいないこと ②総所得金額等が48万円以下の生計を一にする子を有すること ③合計所得金額が500万円以下であること 【勤労学生】 学校教育法第1条に規定する学生、専修学校、各種学校の生徒等で、次の要件全てを満たす方 ①自己の勤労に基づく給与所得等がある ②合計所得金額が75万円以下 ③合計所得金額のうち給与所得等以外の所得が10万円以下